

令和6年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会 会議録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和7年1月15日（水）15時00分～16時35分
開 催 場 所	木更津市役所駅前庁舎 防災室・会議室
出 席 者 等	【出席委員】16名 泉水 廣己 委員（木更津市区長会連合会 会計） 石渡 宏 委員（公募委員） 高橋 晴樹 委員（日東交通株式会社 運輸部長） 深山 宏樹 委員（小湊鉄道株式会社 バス部長） 手塚 真一 委員（一般社団法人千葉県タクシー協会 南房支部長） 鹿島 良行 氏（東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター所長） 轟 朝幸 委員（日本大学理工学部交通システム工学科 教授） 高橋 直人 委員（国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官） 伊藤 昌央 委員（千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長） 渡辺 則行 委員（木更津市 企画部長） 石井 彰一 委員（木更津市 市民部長） 伊藤 昌宏 委員（木更津市 福祉部長） 吉田 究 委員（木更津市 都市整備部長） 伊藤 貴夫 委員（君津土木事務所 調整課長） 鴫田 宏 委員（富来田地区まちづくり協議会 会長） 立松 義徳 委員（イオンモール木更津 渉外部長） 【欠席委員】5名 成田 斉 委員（一般社団法人千葉県バス協会 専務理事） 青井 崇 委員（木更津警察署 交通課長） 大澤 一樹 委員（日東交通労働組合 木更津支部副支部長）

	藤井 裕 委員（三井アウトレットパーク木更津 所長） 神蔵 五月 委員（木更津市議会 交通政策特別委員会 委員長） 【事務局】 6 名 企画部（地域政策室） 安田次長、鈴木室長、宮澤室次長、平野係長、深野主任主事、田丸主事
傍 聴 人 数	0 人
会議の議題及び 会議資料の内容	【議題】 （１）会長の選出について （２）副会長及び監査委員の指名について （３）令和６年度補正予算（案）について （４）令和５年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について （５）令和６年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について 【報告事項】 （１）「令和７年度地域間幹線系統確保維持補助金」および「令和７年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に係る地域公共交通計画の認定について （２）小湊鉄道株式会社運行の路線バス運賃の値上げについて （３）木更津観光 MaaS デマンドタクシー実証事業の報告について （４）運転のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津の実施について （５）ＪＲ久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の開催結果 （６）その他 【配布資料】 ◇次第 ◇席次表 ◇委員名簿 ◇木更津市地域公共交通活性化協議会規約 ◇資料１：令和６年度補正予算（案）について ◇資料２：木更津市地域公共交通計画事業評価シート（令和５年度実施分） ◇資料３：令和６年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について ◇資料４：「令和７年度地域間幹線系統確保維持補助金」および「令

	和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に係る地域公共交通計画の認定について ◇資料 5 : 小湊鉄道株式会社運行の路線バス運賃の値上げについて ◇資料 6 : 木更津観光 MaaS デマンドタクシー実証事業の報告について ◇資料 7 : 運転のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津の実施について ◇資料 8 : J R 久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の開催結果
議事の経過及び 発言の要旨	別紙のとおり

別紙 会議録

事務局	只今から令和6年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 本日はご多用のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。木更津市地域政策室の平野と申します。 よろしくお願い申し上げます。 まず、本日欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。 一般社団法人千葉県バス協会 専務理事の成田委員、 木更津警察署交通課長 青井委員、 日東交通労働組合 木更津支部副支部長の大澤委員、 三井アウトレットパーク木更津 所長の藤井委員、 木更津市議会の神蔵委員、 以上の5名が欠席となります。 次に、本日の会議につきましては、協議会規約第9条第2項の規定により、委員の過半数が出席しておりますことから、会議が成立していることをご報告させていただきます。 また、本会議は協議会規約等の規定により、原則、公開で行うこととなり、会議録及び会議資料も公開となりますので、ご承知おきください。 それではまず、事前送付にてお配りしております資料のご確認をさせていただきます。 会議次第、席次表、委員名簿、協議会規約 資料1：令和6年度補正予算（案）について 資料2：令和5年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について 資料3：令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について 資料4：「令和7年度地域間幹線系統確保維持計画」および「令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に係る
-----	--

	地域公共交通計画の認定について 資料 5：小湊鉄道株式会社運行の路線バス運賃の値上げについて 資料 6：木更津観光 MaaS デマンドタクシー実証事業の報告について 資料 7：運転のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津の報告について 資料 8：JR 久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の開催結果 をお配りしております。 資料の配付漏れ等ございましたら、お申し出ください。 さて、当協議会の委員任期につきましては、前任期間の満了日が令和 6 年 6 月 28 日となっていたところですが、各所属・各団体に委員のご推薦・ご指名をいただいたところ、本日まで出席いただいた皆様に、改めて委員をお願いできることとなりました。 本来であれば委員の皆様お一人お一人をご紹介しますべきですが、お時間の都合上、今回新たに委員となられた方のみ、ご紹介申し上げます。 今回、新たに委員となられた、鉄道事業者であります、東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター所長の鹿島 良行様でございます。 新たな任期は令和 8 年 6 月 30 日までとなりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。 なお、本日の協議会について、傍聴者はございませんので、ご報告いたします。 それでは、これより議事に入るわけですが、 議事進行につきましては、協議会規約第 9 条第 1 項の規定により、会長が議長となるとされております。
--	--

	今回、委員の改選後、最初の会議となりますので、会長が選任されるまでの間、議長につきましては、木更津市企画部長の渡辺委員に仮の議長をお願いしたいと存じます。 渡辺委員、議長席への移動をお願いいたします。
渡辺委員	それでは、会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。 それでは、議題（１）「会長の選出について」お諮りします。 会長につきましては、協議会規約第５条の規定により、委員の中から互選により定める。となっております。 立候補又は推薦はございますでしょうか。
高橋（晴）委員	公共交通に関する様々な計画等に精通されている、轟委員に引続きお願いできればと思います。
渡辺委員	ただいま、轟委員とのご推薦をいただきましたが、いかがでございますか。
一同	異議なし
渡辺委員	それでは、規約の規定により新会長に議長をお渡しいたします。 皆様、ご協力ありがとうございました。
事務局	渡辺委員、ありがとうございました。 元のお席にお戻り下さい。 それでは、轟委員、議長席へご移動をお願いいたします。 それでは、会長に選出されました轟委員より一言就任のご挨拶をお

	願いいたします。
轟会長	【就任あいさつ】
事務局	ありがとうございました。 それでは、会長が決定いたしましたので、これからの議事進行につきましては、協議会規約第9条第1項の規定によりまして、轟会長に議長をお願いし、これからの議事の進行をお願いいたします。
轟会長	それでは、私のほうで議長を務めるということでございますので、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。 議題（2）「副会長及び監査委員の指名について」でございますが、規約第6条の規定によりまして、会長として副会長と監査委員を指名する必要があるございますので、私から指名させていただきます。 副会長には木更津市企画部長の渡辺委員に、監査委員には公募委員の石渡委員と都市整備部長の吉田委員のお二人を指名したいと思います。が、いかがでしょうか。
一同	異議なし
轟会長	それでは、渡辺委員には副会長、石渡委員と吉田委員には監査委員ということでよろしくお願いいたします。 それでは、続きまして議題（3）「令和6年度補正予算（案）について」事務局からの説明をお願いします。
事務局	資料1に基づき説明

轟会長	ありがとうございました。 ただいま、事務局から説明いたしました議題（３）につきまして、皆さまのご意見等をいただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。 補助金申請を行ったことに伴う補正とのことですが、後程、関連する議題があるとのことですが、ご質問やご意見等あれば伺いたいと思います。 では、承認とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
一同	異議なし
轟会長	続きまして、議題（４）「令和５年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について」です。 事務局から説明をお願いいたします。
事務局	資料２に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 令和４年度末に策定した計画がスタートしています。 事務局により事業実施状況の数値に基づいた客観的評価を行い、さらに、今後の施策展開について説明いただきました。
石渡委員	２つお聞きします。 １つは６ページ、事業４「拠点における円滑な接続」における乗り継ぎ割引制度について、具体的な内容をお聞かせください。
事務局	乗り継ぎ割引の導入については、公共交通計画の中では、例として

	I Cカードの乗り継ぎ割引について掲載しております。 具体的には、電車を降りた方が、バスに乗り継ぐ際に、例えば、60分以内に乗り継ぎだとバスの初乗り料金がかからないように、割引となった金額でバスが乗れるといったような仕組みであったあり、バスからバスに乗り継ぐ際にも、I Cカード割引を適用させていただく等、利用者が活用しやすい路線バスの環境整備について、市内交通事業者様と検討していきたいというふうに考えているところです。
石渡委員	わかりました。 昔のことを言って恐縮ですが、昔はバスの回数券が販売されていたと思いますが、今は廃止の傾向にあると思います。 バスを定期的に利用する動機になり、バス会社としてもまとまった収入を得るための一つの方法として有効であると考えているのですが、なぜバスの回数券は廃止となっているのでしょうか。
高橋(晴)委員	日東交通の高橋です。 当社の回数券については、昨年の4月から発売を終了させていただきました。 会長も冒頭おっしゃいましたとおり、全国的に路線バスの維持が厳しい状況にあり、当社は運賃改定を行っておらず、運賃改定の前に割引サービスを廃止して、少しでも多く運賃収入を得ることで路線バスの維持に努めていきたいと考えておりましたので、現状では、回数券制度を新しく設定することは考えておりません。 なお、割引をするという点では、定期券のサービスは引き続き行っております。 また、当社独自のノーカーサポート優待を行っており、運転免許証を返納された方に対して割引を実施しておりますので、そういった制度により、少しでもサービスの改善ができればと思っております。

深山委員	す。 小湊鉄道の深山です。 当社といたしましても、石渡委員のおっしゃりたいことはよくわかる ところではありますが、割引回数券による運賃割引については、 やはり路線の維持の観点からすると、燃料高騰や人件費が上がって いく中で、継続していくことが難しい状況であります。 当社も一部の高速バス以外はほとんど廃止という形になっており いろいろご迷惑をおかけして申し訳ございません。
石渡委員	2 つ目の質問をさせていただきます。 11 ページ、事業 9「情報発信」について、ホームページでの路線バ スの状況を発信してはいると思いますが、ホームページをきっかけ に一体どれぐらいの人が公共交通に関心を持つだろうかと疑問を 感じます。 やはり、市の広報があるので、路線バスについて話し合った内容で すとか、こういうふうに路線が再編されて利用しやすいので、ぜひ 利用して欲しいとか、掲載するのが望ましいと考えます。 この 1 年間で広報を見たときに、路線バスのことが載ったことは 1 度だけだったと思いますので、公共交通の活性化を図る意味でも、 市の広報をもっと目で見ると、直接市民に訴える、そういう、情報発 信をすべきではないかと思います。 それと合わせて、9 月 20 日がバスの日になっているということす ので、そういう特別な日に合わせて、なぜバスの日が 9 月 20 日な のかという紹介やバスの現状の改善を、広報で訴えたらよいのでは ないかと思います。
事務局	ホームページに加えて、市の広報誌の内容を充実すべきとの意見と して理解いたしました。

	また、ホームページはアクセス件数を集計することができ、木更津市の１年間にアクセスされたのが約 400 万回でそのうち、公共交通に関するホームページの総アクセス件数は、17 万 2502 件であったというデータが取れていますので、データの推移を追っていきながらホームページの内容についても充実させていこうと思っております。
高橋(晴)委員	9 月 20 日がバスの日に設定されていますが、確か日本で初めてバスが認可されたか運行された日であったかと記憶しております。
轟会長	ありがとうございました。 この報告であるような様々な取り組みを、SNS を通じて発信することも検討できるのではないかと思います。それによってたくさんの発信を目にすることで、「改善されてるんだな」とか、「いろんなことしてるんだな」ということもわかると思います。 また、策定時は閲覧件数が占める割合が 1.6% だったのが 4.3% まで上昇しているのは大きな上昇率ですので、ぜひ原因分析をしていただきたいと思います。 その他にご意見やご質問はありますでしょうか。
高橋(直)委員	1 点教えてください。 7 ページ、事業 5「新たな交通システムの導入」についてですが、富来田地区が自家用有償運送事業を実施しているなかで、令和 12 年まで 5 地区に拡大することを目標にしているということでした。 現状として、岩根東地区まちづくり協議会以外の地域から相談はあるのでしょうか。 また、導入するにあたっては地域からの要望に応じる形なのか、市が地域に対して説明を行うというような形なのか教えてください。

事務局	岩根東地区まちづくり協議会および木更津社会福祉協議会の他に話し合いをしている地区があるかというご質問ですが、現在は東清川地区まちづくり協議会と意見交換を行っております。 また、導入の流れについてですが、これは地域公共交通計画における地域主体の新たな交通システムは市の事業として導入するというよりも、地域が主体となって地域と協力をして立ち上げるというようなことを想定しております。
轟会長	その他いかがでしょうか。 私からもコメントさせていただきますと、やはりすべてが良い評価になって欲しいと思っておりますので、B評価となっている事業をどのように向上していき、目標に向けていくかということは、ぜひ検討いただき、そして実行に移していただきたいと思います。 これには事務局だけでなく事業者さん含め、皆さんの協力が必要ですので、ご協力をいただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。 それではこの内容で事業評価を承認とさせていただきますがよろしいですか。
一同	異議なし
轟会長	ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。 続きまして、議題（5）「令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	資料3に基づき説明

轟会長	事業評価における目標値の収支の増減理由について、説明をいただきましたが、燃料費の高騰等が挙げられるかと思います。 もう１つは、１便当たりの輸送人員については、個別輸送が増えていること。この要因について、運行主体の富来田地区まちづくり協議会の鵜田委員から少し補足説明いただければと思います。
鵜田委員	会員の高齢者は毎年増えている状況ですが、運転士も年々高齢となり、昨年は２名の方に運転士として新たに加わってもらうことができましたが、一方で運転士が１名亡くなっており何とか体制を維持しているのが現状です。 個別輸送が増えている原因についてですが、富来田地区の面積が広いことです。１つの目的地、例えばほたるの眼科に行く際も、１日に１人であれば、その１人を送迎するという形になります。 これが２人３人いればまとめて乗せられますが、それにしても、燃料費が高いため、あまり走り回るわけにもいかない状況です。 いろいろな課題がまだまだ山積しておりますが、今は住民にとってなくてはならない足になっております。
轟会長	デマンド交通については、他の自治体の例でも、乗合率を高めるのは難しいという背景があります。 私も具体的な画期的アイデアがあるわけではないのですが、相乗りを推奨していただくような形で、収支率を上げていただければと思います。 その他いかがでしょうか。
伊藤(昌)委員	利用者の人数について１点お尋ねさせていただきます。 資料３の１ページ「⑤目標・効果達成状況」に記載されている実績については、令和５年は月に延べ５３．７人から、６年度は６５．３人に

	増えていて、大変良いことだと思うのですが、一方で目標については、①の利用者目標が月に延べ 50 人となっていますが、これは 5 年度の実績が出た後に出した目標ということでよろしいのかどうかと、もしそうであれば目標を下げているのはどうしてかっていうところを教えていただければと思います。
事務局	令和 6 年度の目標値についてですが、おっしゃられた通り、令和 5 年度の実績値を参考として目標設定を行うのですが、令和 6 年度の運行日数を考えたときに、ここまで多く運行できることを想定しておらず、運行日数計画をベースに目標算出をしたことが原因となっております。
轟会長	運行日数の目標値の見直しについても議論になるかもしれません。とにかくここ数年は、運行日数は想定よりも増えているということでした。 その他いかがでしょうか。
轟会長	事業評価における目標達成状況については、収支率は目標を下回ってしまいましたので改善へ向けて努力をしていただければと思います。 この結果で承認いただくということでもよろしいですか。
一同	異議なし
轟会長	ありがとうございます。議題（5）については、承認とさせていただきます。 それでは、議題につきましては以上で全て終了いたしました。 続きまして、報告事項に移ります。 質問は報告事項が全て終わりましたら、お願いいたします。

	それでは、報告事項（１）「令和７年度地域間幹線系統確保維持計画」および「令和７年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に係る地域公共交通計画の認定についてです。 事務局からご説明をお願いします。
事務局	資料４に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 続きまして、報告事項（２）「小湊鉄道株式会社運行の路線バス運賃の値上げについて」です。 小湊鉄道 深山委員からご説明をお願いします。
深山委員	資料５に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 続きまして、報告事項（３）「木更津観光 MaaS デマンドタクシー実証事業の報告について」です。 千葉県タクシー協会 手塚委員からご説明をお願いします。
手塚委員	資料６に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 続きまして、報告事項（４）「運転のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津の実施について」です。 務局から説明をお願いいたします。
事務局	資料７に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。

	続きまして、報告事項（５）「ＪＲ久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の開催結果」です。 事務局から説明をお願いいたします。
事務局	資料８に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 報告事項５件をご説明いただきました。この５件について何かご質問ご意見ございますでしょうか。
轟会長	では私から、観光デマンドタクシーの件についてお聞きいたします。 報告では多数の利用者がいたということでしたが、やはり収支的にはなかなか難しいというお話でした。しかし、ぜひこういった取り組みは続けて欲しいなと思っていますので、今後の展望があれば教えていただければと思います。 また、実施に当たっては周知やＰＲにも力を入れてもらえればと思います。
手塚委員	次回の実施予定については決まっていない状況です。機会があればタクシー事業者としても参画したいと考えております。 また、先ほど収支面でも非常に厳しいとご説明しましたが、今回の実証実験では観光庁の補助金を活用した実施となっておりまして、なかなかその補助金の申請から交付決定まで時間がかかってしまい、実施決定にも影響がでてしまいました。 事前のＰＲを十分に行う余裕がなく、実施決定してすぐに走り始めたこともあって前半は利用者数が伸びずに苦戦しましたが、後半では値段を下げたこととＰＲにも力入れたところ利用者数が盛り返した結果となりました。

轟会長	やはり一定の需要はあると考えておりますので、効果的な周知活動を行うことが、今後の課題であると認識しております。 ありがとうございます。 地域を巻き込んだ形で展開される企画されていますので、目的地と回遊手段が一緒になっているのが非常に重要と思います。 できればそういった目的地の、例えばレストランや観光施設の入場予約ができるようになって、さらに決済まで済ませられると一番良いと思っているので、次の展開に向けては、ぜひそんなことも念頭に置いていただければなと思います。 その他いかがでしょうか。よろしいですか。 やはり環境の厳しい中で、値上げの話もありましたが、これは致し方ないかなと私は思っております。 地域でしっかりと議論をした上で、より良いものを目指しつつ、まずは利用者を増やすことが重要かと思っておりますので、皆様のご協力お願いいたします。 それから、ドライバーさんの募集支援については、面談数は数多く実施できたものと認識しておりますので、なんとか採用に繋がってほしいと思いますし、運賃の値上げによって労働環境や賃金等も含めて要望に合うようなものになってほしいと思っていますところ です。 ぜひ皆様のご理解のもとで進めていただければと思います。 それでは報告は以上とさせていただきます。 それでは、「(6) その他」ですが、委員の皆様から何かご報告事項はございますでしょうか。
伊藤(昌)委員	千葉県の取り組みをご紹介します。

轟会長	先ほど報告事項の資料 7 で運転手採用支援の説明会が実施されたという報告がありましたが、県の方でも、今年補正予算措置により初めて県主催で、バス運転手の合同就職説明会を開催する予定としております。具体的には 2 月 1 日に日本橋で開催をいたします。 また、3 月 15 日には幕張メッセでバスの運転体験も含めてバス会社の個別の説明会を実施する予定です。 それからもう 1 点が、先週金曜日に県で来年度の当初予算と今年度の補正予算について報道発表を行いまいしたが、その中で新規事業として地域公共交通のり・デザイン推進事業というものを新規事業で計上いたしました。今年の補正予算については、金額 1 億 5000 万円で計上しております。 内容としましては、地域公共交通の維持確保に向けて、バス路線の再編や交通モードの転換などに取り組む場合に、市町村への補助をさせていただくというものです。具体的な例で言いますと、国と県の補助を受けて維持している広域のバス路線の利用者の減少により、補助要件の下限を満たさなくなってしまった場合に、交通モードを変えることや、車両ダウンサイジング化、運行形態を変えるとか、そしてスクールバスとの混乗を行う等、再編やモデルの転換などを行う場合に、調査費用や実証運行費用を補助させていただく予定としております。 さらに、課題はわかってるんだけどどう対応すれば良いかわからないというケースもあるかと思いますので、今回はコンサル業者にも入っていただいて市町村さんの取り組みをサポートするような内容もこの予算に計上しておりますので、ご活用ご検討いただければと思います。 ありがとうございます。千葉県さんも支援をいただけるということでした。 ぜひ我々の地域公共交通計画の中にも、今のご紹介いただいたよう
------------	--

事務局	なメニューがありますので、県と市で連携する形でご支援をいただきながら進めていきたいと思ひます。 その他いかがでしょうか。 では特にござひませんので、その他も以上とさせていただきます。今日もたくさんの議題について議論いただきました。 地域公共交通計画の進捗管理をしっかりとやりながら、遅れてるものはしっかりとやっていきたいですし、それから冒頭に申し上げましたが、社会や世の中がどんどん変わっていきますから、もし何か新しい取り組みだとか状況の変化があれば、計画自体も見直しながら、新しい取り組みもどんどん仕掛けていかないといけないかなと思っております。 様々なことができると思ひますので、皆さんと連携をしながら進めていければと思っております。 引き続きよろしくお願いいたします。 それでは議題は以上となりますので、議事は終了とさせていただきます。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。 轟会長、ありがとうございました。 以上を持ちまして、令和6年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。 なお、次回開催は、来年度5月から6月中を予定しております。 皆様には引き続きよろしくお願いいたします。 詳細は近くなりましたら文書にてお知らせさせていただきます。 委員の皆様方には、お忙しい中、長時間にわたり、貴重なご意見を
-----	---

	賜りましてありがとうございました。 (以上)
--	--------------------------------------